

第1回 川崎市多摩川プラン推進会議

議事要旨

日時：平成19年7月17日（火）13：40～15：30

場所：川崎市役所第3庁舎18F大会議室

■議事要旨

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

・お礼の挨拶の後、多摩川プランを実施するための以下の3つの方針を説明しました。

- (1) リーディングプロジェクトの実施
- (2) 多摩川の拠点である重点エリアの設定
- (3) 市民・企業・学校・行政の協働による多摩川プランの推進

4. 委員紹介、事務局紹介

進士 五十八	東京農業大学 教授
山道 省三	NPO 法人多摩川センター 代表理事
鈴木 研司	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 所長
北島 信夫	NPO 法人多摩川エコミュージアム 代表理事
河崎 庄吾	河崎組建設業株式会社 取締役
安原 晃紀	公募
福田 利雄	公募
櫻木 進	公募
亀田 多喜	公募
青木 昌夫	公募

5. 多摩川プラン推進会議設置要綱の確認

6. 委員長、副委員長の選出

・委員長に進士五十八氏（東京農業大学 教授）、副委員長に北島信夫氏（NPO 法人多摩川エコミュージアム 代表理事）が選出されました。

7. 多摩川プランの推進について

8. 意見交換

（進士委員長）

- ・多摩川プランのポイントは、10年前に策定されたが局地的な活動であったエコミュージアムプランを、川崎市地域全域に広げることと、今まで中心的に活動してきた人たちだけではなく、130万人の川崎市民に活動の輪を広げること。また、多摩川推進課という専属の課を設け、多摩川プランを牽引することで、全庁を挙げて川崎市民のために進めていこうとしている。

- ・ 推進会議の役割は事業の進行管理だが、委員の方々には行政で気が付かないような、生活者の視点でも色々ご提案いただきたい。また、イベント等に参加いただき、参加された感想やご意見、ご提案を、会議の場だけでなく直接事務局にメールなどで伝えていただきたい。

(鈴木委員)

- ・ 多摩川では、落書きやバーベキュー等、自分の都合だけで川を使う人がいる。そのような人々への教育を行っていくことも、プロジェクトに取り入れて行えると良いと思う。

(河崎委員)

- ・ 川崎市内の12社が集まり、「多摩川協力会議」を設立した。具体的には、清掃活動を行ったり、国土交通省のイベントに参加したりしている。

(山道委員)

- ・ 自然再生事業には、企業が多く参画している。
- ・ 市民参加で行う多摩川の調査を「自然を多摩川に戻す」という意識づけを行ったうえで実施することが重要。また、サイン計画を作成する際にも、目指すべき目標など、明確なコンセプトを示すことが大切。

(櫻木委員)

- ・ 多摩川沿川の市民だけでなく、それ以外の市民への広報が重要。

(進士委員長)

- ・ 計画の全体像を市民に示した後に、本質を示す必要がある。

(青木委員)

- ・ 対岸である東京都とも連携を図って事業を進めてほしい。

(安原委員)

- ・ 民間と同じように、定量的な指標を設定して、事業の進捗状況を示してほしい。
- ・ 広報活動が不足していると感じる。沿川住民でさえ多摩川での活動をほとんど知らない状況にある。

(福田委員)

- ・ 水質改善に対する具体的な内容が不明確。
- ・ バーベキューの受益者負担についての検討が必要。
- ・ 川でのマナーを啓発する人をせせらぎ館に常駐させてはどうか。
- ・ 多摩川に関する便利な情報を揃えて、アピールする。

(亀田委員)

- ・ バーベキューを予約性にするなど、管理が必要ではないか。

(北島副委員長)

- ・ バーベキュー対策は、早急に検討する必要がある。

9. 閉会

以上